

2024年度事業報告及び決算報告

1. 2024年度の事業概況について

2024年度は、コロナ前の運営に戻すとともに、中期計画の3つの課題に向けての取り組みを開始した一年でした。

- ① 法人運営面では、設立以来の経営体制を次世代に引き継ぐべく3月の理事会で3名の常務理事を選任し、2025年度からは事業運営や経営の実務を常務理事が担当する形をスタートさせています。
- ② 事業運営面では、通常の施設運営を復活させていく年でした。利用者旅行、ウォーキング大会、スポーツ大会、クリスマス会等の施設内行事や社会参加を実施しました。また地域交流行事として、にじの会まつり・にじアートまつりや美術作品展を開催し、多くの地域の方々の参加を頂きました。
- ③ 「寄り添う支援」の充実に向けては、意思決定支援へのICT活用を重点にした支援の質の向上と支給金活動を中心にした社会参加の拡大とを図りました。同時に、利用者の高齢化が進行しており一層の高齢化対応が必要になってきています。
- ④ SDGsの取り組みでは、車両のEV化と窓ガラスへの遮光・飛散防止フィルム貼付により、省エネ対策と非常時対策を進めています。
- ⑤ 地域共生社会への貢献では、高齢者買い物送迎支援事業「かわせみ」と三鷹市内の子ども食堂への食事提供を継続し、さらに大沢地区の子ども食堂を開始しています。

2. 2024年度の決算について

にじの会の2024年度決算の概況は以下の通りです。

- ① 最終の当期活動増減差額は5999万円（前年度は2168万円）の黒字。通常の運営状況を示す経常増減差額は6002万円（前年度は2266万円）の黒字でした。就労支援事業収益は18万円減って7067万円、障害福祉サービス事業収益は8607万円増えて11億1497万円となり、サービス活動収益は合計で8509万円増えて11億8935万円でした。費用は人件費を中心に合計で4816万円増えて11億3242万円でした。
- ② 資金収支は、当期資金収支差額合計が6706万円の黒字となりました。通常運営の収支を示す事業活動資金収支の黒字9686万円に施設整備等補助金収入1055万円を加えた1億741万円を原資に、設備資金の返済1029万円と設備投資等3005万円の合計4034万円を支出しています。この結果6706万円の黒字となっています。
- ③ 2024年度末の財政状態は、総資産22億8796万円・負債1億8264万円・純資産21億532万円で、前年度より純資産が5240万円増加しています。